

平成28年 第2回教育委員会会議録

1 日 時

平成28年2月17日(水)

開会 13時00分

閉会 13時50分

2 場 所

教育委員会室

3 出席した委員

金田清委員長、橋正徹委員、中村健一委員、横山真紀委員、木下公司教育長

4 説明のため出席した職員

金戸清外志教育次長、竹中功教育次長、齊田正活教育次長、
表純一教育次長兼教員指導力向上推進室長、平島敏彦教育次長兼教育振興推進室長、
脇田明義庶務課長、宮崎栄治教職員課長、小浦寛学校指導課長、
篠原恵美子生涯学習課長、浅田隆文化財課長、森山喜博スポーツ健康課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第2号 平成28年第1回石川県議会定例会提出予定案件について(原案可決)

6 報告案件

第1号 平成27年度児童生徒の体力・運動能力調査結果の概要について

第2号 平成27年石川県優良部活動指導者表彰(知事表彰)について

7 審議の概要

・開会宣告

金田委員長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第2号は、平成28年第1回県議会定例会への提出予定案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項に基づき非公開とすることを、全会一致で決定。

・質疑要旨

報告第1号 平成27年度児童生徒の体力・運動能力調査結果の概要について
(森山スポーツ健康課長説明)

資料29頁をご覧ください。

「1 調査の目的」につきましては、本県児童生徒の体力・運動能力及び生活に関する実態を把握し、各学校における体育指導等に活用することであり、小学校4年生以上の全公立小中高等学校の児童生徒を対象としまして、本県独自に毎年実施しております。

「2 調査の対象」につきましては、公立小中高あわせて342校、対象人数は8万3,229人であります。

「3 調査の内容」につきましては、握力、上体起こしなど「新体力テスト」8項目と、運動部やスポーツクラブの所属状況など「生活調査」7項目であります。

「4 調査の結果」、体力合計点であります。これにつきましては、過去5年間の体力合計点の全体平均及び学年別、男女別の平均を示しております。

体力合計点とは、新体力テストの8項目の記録を、それぞれの項目ごとに1点から10点に得点化し合計したもので、体力・運動能力全般を数値化して表すために使われております。80点が満点になります。

「(1) 体力合計点の全体平均」の表をご覧ください。

数値は、過去5年間の小学4年生から高校3年生までの9学年の体力合計点の平均になります。

27年度の体力合計点は52.49点で、年々上昇してきております。

「(2) 体力合計点の学年別平均」の表をご覧ください。

小学4年生から高校3年生までの体力合計点を男女別に載せてあります。

網掛けの数値は、過去5年間で最も良い値であり、今年度は男女とも多くの学年で最高値を示しています。

次に、「5 「平成27年度」と「過去10年間」の平均の比較」をご覧ください。この表は、新体力テスト8項目の平成27年度と過去10年間の平均を比較し、平成27年度が上回っている項目は○印、下回っている項目は▲印で示しています。

多くの項目で平成27年度が上回っておりますが、「握力」、「ボール投げ」は多くの学年で、「立ち幅とび」は小学校男子、「持久走」は中学校女子で、「上体起こし」は高校男子で下回っております。

30頁をご覧ください。

「6 総合評価の状況」は、新体力テスト8項目の合計点を、Aの「優れている」からEの「劣っている」までの5段階に分類した「総合評価」の過去5年間の推移を示したものであります。

「全体」の表をご覧ください。数字はパーセントになります。

Aの「優れている」児童生徒は、過去5年間で年々増加しており、Cの「普通」、Dの「やや劣っている」、Eの「劣っている」児童生徒はやや減少しております。

A、Bの増加は、体力・運動能力が優れた児童生徒が増えてきていることを示しており、D、Eの減少は、体力が劣る児童生徒が減ってきていることを示しております。

最後に「7 まとめ」でございますが、「調査結果の傾向」としまして、本県の児童生徒の体力・運動能力は、県・市・町教委や各学校の様々な取り組みによりまして、体力合計点、総合評価で本県独自の悉皆調査を始めた18年以降上昇傾向を示しております。

ただ、過去10年間の平均との比較において、小中高の多くの学年で下回っている「握力」、「ボール投げ」の2項目については、重いものを持つなど日常生活の中で握力が鍛えられる機会が減ったことや、雲梯や棒登り、キャッチボールなど屋外での運動経験が少なくなったことが影響しているためと考えられます。

なお、紙面には載せてはありませんが、新体力テストと同時に行いました生活調査の結果からは、「週3日以上運動する」、「毎日朝食を食べる」、「体育の授業は楽しい」と答えた児童生徒の体力・運動能力が高い傾向にありました。

「今後の取り組み」としましては、児童生徒の体力・運動能力をバランス良く向上させていくことが大切であり、過去10年間の平均値を下回っている「握力」、「ボール投げ」、「立ち幅とび」の3項目については、児童期からその向上を目指した取組を進めるため、過去3年間、モデル校での実践研究で科学的根拠に基づいて作成された3項目の動きに特化したリズム体操DVDを活用し、正しい動作を身に付けるなど、課題克服に向けて、継続的に取り組むよう各校に働きかけていきたいと考えています。

また、本日13時半より、全ての公立小・中・高等学校の体育担当代表者を集めて開催する「体力アップ研究協議会」においても、本年度、「ボール投げ」の向上をねらいとして、実践研究を行ったモデル校が取組を発表することとしており、各学校における体育の授業改善や、「体力アップ1校1プラン」の充実、更にリズム体操DVDを活用し、継続的に取り組むよう指導してまいりたいと考えております。

以上です。

【質疑】

(橋正委員)

全体的に体力が向上しているということは喜ばしい結果じゃないかと思います。

体力は学習も含めあらゆることの基本になりますので、向上してくるということはその他の分野にも良い影響を及ぼすといった、計り知れないそういう基礎的な数値の向上だと思って見えています。

先程も話のありましたように、バランス良く、体力全体の向上ということを考えれば、▲がずらりと並んでいるところが、やっぱり、とても気になりますね。

これらはやっぱり、学校が取り組んでいる「学校1プラン」というのがとても大きいと思うのですが、この▲は、その実施していることと直接関係ないことですかね。

(森山スポーツ健康課長)

各学校にも体力・運動能力調査の結果は届いておりますので、その結果を基に弱い部分、例えば「先ず腕から鍛えましょう。」とか言ったことで、体育の授業の冒頭の準備運動の中に取り入れたりとか、他の取り組みを実施するとか言ったことでやっております。

(橋正委員)

学力調査同様にその年の結果を見て、子供たちにどういう運動をさせるかというような、そういう反省というか取り組みを毎年学校はやっているということですか。

(森山スポーツ健康課長)

はい、「体力アップ1校1プラン」につきましては、毎年、各学校で取り組んでおります。

(金田委員長)

「1校1プラン」は施策を打ち出してから、かなり長い時間やっているよね。
だから、この影響はかなりのものがあると思いますが、どう認識していますか。

(森山スポーツ健康課長)

この「体力アップ1校1プラン」もそうですが、小学生の4種目の「スポチャレ」も効果的で、そういった影響が好結果につながっているものと考えています。

(金田委員長)

小学校からの「スポーツをするのが嫌でない。」という環境づくりに成功して来ているわけですね。

それが中学校、高校へとつながっていくと、

(橋正委員)

トータルで良い結果ですから、これからも学校で反省を加味しながら続けていっていただければと思います

(金田委員長)

これからも地道に、学校と連携をとりながらやっていただければ、

こういう数値は上がったたり下がったりすることもあると思いますが、こういうスポーツ好きの児童生徒を沢山作っていただければ、ありがたいと思います。

報告第2号 平成27年石川県優良部活動指導者表彰(知事表彰)について

(森山スポーツ健康課長説明)

資料31頁をご覧ください。

この表彰は学校部活動等の指導者として特に優秀な教職員を表彰し、その功績をたたえるとともに、本県教育の振興、発展に資することを目的に実施している知事表彰であり、本年は運動部19名、文化部2名、合わせて21名の指導者を表彰することとしております。

いずれも生徒との信頼関係を深め、指導した生徒が全国大会等において優秀な成績を収めるなど、各部門において卓越した指導力を発揮した指導者であり、今回の表彰を新たな契機として今後益々活躍してくれるものと期待しております。

なお、表彰式は2月24日、午前11時30分より県庁4階の特別会議室において、行うこととしております。以上です。

【質疑】

(横山委員)

部活動というのは生徒にとって1日の半分で、そして3年間、友だちも変わらないという本当に重要なポジションにあると思うのですが、これだけの先生方が表彰されるという事で、また、これで他の部活動の指導者も見習うべきところは見習ってほしいなあと思います。

この表彰を受けると、また翌年も受けるということは可能なのでしょうか。

(森山スポーツ健康課長)
連続も可能です。

(横山委員)
今回受けられる方の中にも連続で受けられる方がいらっしゃるのでしょうか。

(森山スポーツ健康課長)
はい。例えばですね、今回、10回目という人もいます。

(横山委員)
この21名の中に、初めての方はいらっしゃいますか。

(森山スポーツ健康課長)
初めての方は9名です。
10回目の方は、西川 明大さん、星稜高校のトランポリンの指導者です。

(金田委員長)
18番のハンドボールの本 美紀さんは初めてですか。

(森山スポーツ健康課長)
そうです。初めてです。

(金田委員長)
専門でないんだけど頑張られたんだなあ。

(森山スポーツ健康課長)
まれにこういう人もおります。
13番の金沢市立工業高校相撲部の塚本監督も元々柔道だったんですが、相撲で頑張っておられます。

(金田委員長)
いろんな分野の方がこうやって頑張っていただくと言うことは、ありがたいことですね。
21番の若狭 弘子さん、布水中のバスケットですが、これは女子の部活ですか、男子ですか、両方を見ておいでのかな。

(森山スポーツ健康課長)
今回は女子の方の成績で受けられます。

(金田委員長)
4番の文芸部って珍しいんじゃないの。

(森山スポーツ健康課長)

これは初めてです。

ちなみに俳句でということです。

(金田委員長)

また、この監督、指導者の皆さんにも頑張っていて、次の新しい時代を創っていただければと思います。

(金田委員長)

以降の審議について非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第2号 平成28年第1回石川県議会定例会提出予定案件について（非公開）

脇田庶務課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・閉会宣言

金田委員長が、閉会を告げる。